



ゲンダイエージェンシー株式会社 会社説明資料



パチンコ業界に特化した広告会社

私たちはクライアント企業の発展を支援します

ゲンダイエージェンシー株式会社(旧商号 株式会社現代広告社)は1995年4月、パチンコホールに特化した広告会社として誕生し、設立10周年となる2004年9月には、おかげさまをもちましてJASDAQ市場上場を果たしました。事業領域としては、クライアントの集客戦略をバックアップし、事業の発展および業績の向上に貢献する「業績発展支援業」を目指しています。主にパチンコホールにおける集客・顧客創造・顧客満足のための戦略提案から折込広告、セールスプロモーション、マスメディア広告等の企画および制作まで、オリジナリティの高いトータルプロデュースを実現しています。

パチンコ業界はすでにファンが店を選ぶ時代

クライアントの要望を踏まえた提案とシステムで高い評価を

パチンコ業界はホールの二極化やユーザー志向の変化に伴って、ファンがホールを選別する時代に突入しています。こうしたなかで私たちは、ファンの心理を理解したきめ細かいプロモーション支援活動と、ファンを固定化させるマーケティングプランの提案により、クライアントをバックアップしてまいりました。さらに、私たちは提案をすばやく形にするために、営業、クリエイターをオンラインでつなぎ、必要なものを必要な時に、必要なだけ、スピーディに、効率よく提供できるシステムを整備し、クライアントの要望に的確に応えています。

生きた情報を収集することでニーズを顕在化

「夢大きく、堅実に歩む」をテーマに21世紀を歩む

パチンコホールに特化した私たちの広告事業展開が受け入れられると確信したのは、このシステムを通じてクライアントから数多くの生きた情報をインプットできるようになった時でした。その情報を生かし、深掘りしてクライアントのニーズを顕在化させることで、私たちはさらに新しい需要を生み出してきました。

今後の目標は、私たちの提供できる支援活動をさらに深めるとともに幅を広げ、より多くのクライアントの皆様とともに発展し、新しいフィールドを築き上げていくことです。その一環として、私達はより一層、きめ細かな地域展開を推進し、同時に新しい事業領域へのチャレンジを行っていきます。

「夢大きく、堅実に歩む」をテーマに。

2014年4月

代表取締役CEO 山本正卓

代表取締役COO 上川名弦



【会社概要】

P4 会社概要

P5 沿革

P6 株式の状況

P7 当社グループの概要

P8 当社グループの理念とビジョン

P9 業績の推移（連結）

【パチンコ業界の市場動向】

P11 パチンコホール業界の概況1

～パチンコ業界の市場規模

P12 パチンコホール業界の概況2

～パチンコホール広告の市場規模

【広告事業のビジネスモデルと強み】

P14 事業内容

P15 ビジネスモデル

P16 業務フロー1

P17 業務フロー2

P18 拠点展開の状況

P19 ポジションと強み

P20 当社取引店舗シェア率推移

P21 現在の取り組み

～クロスメディアマーケティング支援機能の充実

【不動産事業の概要】

P23 不動産事業概要

【今後の取り組み】

P25 今後の経営戦略...中長期的な会社の経営戦略

P26 今後の経営戦略...対処すべき課題

P27 今後の経営戦略...経営指標と利益配分に関する基本方針

【コーポレートガバナンス、CSR】

P29 コーポレートガバナンス

P30 CSRの取り組み

【補足資料】

P32 パチンコ営業店舗数、
1店舗あたりの遊技機設置台数推移

P33 遊技機設置台数推移

P34 遊技機設置台数別営業所数

商号	ゲンダイエージェンシー株式会社 GENDAI AGENCY INC. http://www.gendai-a.co.jp
本社所在地	【本社】 〒163-1429 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティビル29F 【本店所在地】 〒192-0082 東京都八王子市東町9-8
資本金	7億5,159万円
発行済株式総数	16,600,000株
事業内容	広告、宣伝に関する企画および制作
連結子会社	株式会社ランドサポート（業界特化型不動産業） 株式会社ジュリアジャパン（映像・web企画制作会社） 株式会社ジールネット（広告システム等の企画開発） 株式会社ユーアンドユー（広告の企画制作）

役員 （2013年6月21日現在）

代表取締役CEO	山本 正卓
代表取締役COO	上川名 弦
取締役CFO	高 秀一
取締役	山本 伸徳
取締役	木藤 友治
社外取締役	本郷 秀之 （スターティア株式会社 代表取締役社長）
社外取締役	上 岳史 （アルファグループ株式会社 取締役会長）
常勤監査役	安達 吉明
監査役（社外）	寺田 公規
監査役（社外）	東 徹
監査役（社外）	高野 健二

従業員数 285名【単体】 平均年齢33.4才 2014年3月末現在



営業拠点

札幌、仙台、松本、宇都宮
東京第一、東京第二、八王子、横浜、
千葉、さいたま、静岡、名古屋、
大阪第一、大阪第二、神戸、岡山、
広島、福岡、北九州、鹿児島
（全国20拠点） ※2014年4月1日現在

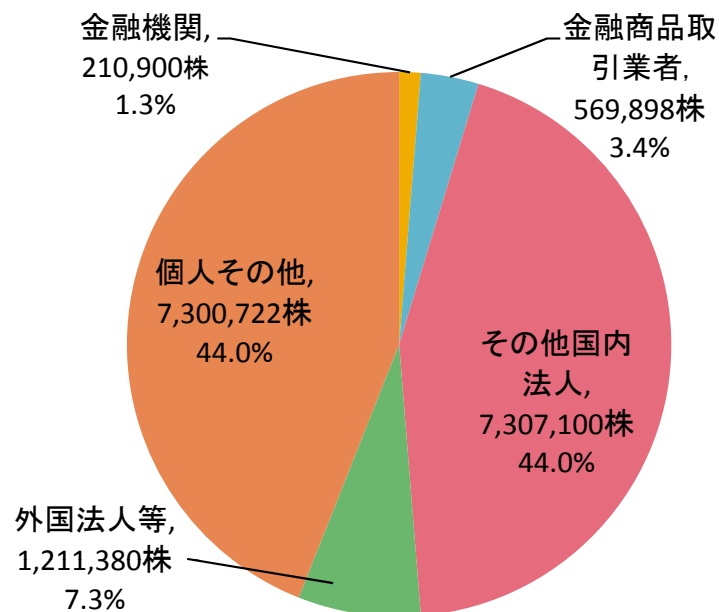
- 1994年2月 現代広告社(創業者山本正卓の個人事業)創業
- 1995年4月 広告業を目的として、東京都八王子市に株式会社現代広告社設立(資本金10,000千円)
- 2003年8月 商号を「ゲンダイエージェンシー株式会社」に変更
- 2004年9月 JASDAQ市場に株式を上場
- 2005年4月 2005年3月期決算発表、連結売上高が100億円を突破、106億円を計上する
- 2006年2月 パチンコホール出店用地取得支援サービスを目的として、当社全額出資により
株式会社ランドサポート(現、連結子会社)設立
- 2006年10月 北九州営業所、他2営業所を開設し営業所は全国で20となる
- 2010年4月 2010年3月期決算発表、連結売上高205億円を計上
- 2010年7月 株式会社ジュリアジャパン(現、連結子会社)の発行済み株式を100%取得し子会社化
- 2012年1月 広告システム等の企画開発を目的とした株式会社ジールネット(現、連結子会社)設立
- 2012年9月 香港にGendai Agency HK Limited(技達有限公司)設立
- 2014年3月 株式会社ユーアンドユー(現、連結子会社)の発行済み株式を100%取得し子会社化

株式の状況

発行可能株式総数	66,400,000株
発行済株式総数	16,600,000株
株主数	4,539人

※当社は、2013年4月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行なっております。

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	持株数	%
アセット・マネジメント・アドバイザーズ(株)	6,000,000	36.1
ビービーエイチ フィデリティ ピューリタン フィデリティ シリーズ イントリンシック オポチュ ニティズ ファンド 常任代理人 (株)三菱東京UFJ銀行	575,000	3.5
ジャパンプリント株式会社	480,000	2.9
山本 正卓	386,400	2.3
梅田 照男	364,000	2.2
(株)SBI証券	337,900	2.0
完山 敏錫	320,000	1.9
ゲンダイエージェンシー従業員持株会	290,800	1.8
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505224 常任代理人 (株)みずほ銀行決済営業部	240,000	1.4
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)	198,900	1.2

広告事業 売上高:17,188百万円(2013年3月期)

不動産事業 売上高:146百万円(2013年3月期)

広告の企画提案・実行



ゲンダイエージェンシー株式会社

設立:1995年

映像・web制作



Julia Japan

株式会社ジュリアジャパン

設立:1994年 出資比率:100%

広告システム等の企画開発



zeal net

株式会社ジールネット

設立:2012年 出資比率:53.8%

広告の企画・制作



株式会社ユーアンドユー

設立:1996年 出資比率:100%

広告の企画提案・実行



Land Support Inc.

株式会社ランドサポート

設立:1995年 出資比率:100%

海外

※1 Gendai Agency HK Ltd.(香港)

※1 Gendai R1 Ltd. (香港)

※2 Maribago Language School Inc.
(フィリピン)

※1 非連結子会社(孫会社を含む) ※2 持分法非適用関連会社

基本理念

Basic Philosophy

私達は、イノベーションと創造性に満ちた取り組みでクライアント企業の業績発展を支援する活動を通じて、豊かな社会の実現に貢献します。

ビジョン

Vision

- 1 私達は、パチンコ業界をターゲットとした広告市場においてナンバーワンの企業を目指します。
- 2 私達は、クライアント企業のコミュニケーション戦略を支援するために、既存の広告事業の枠を超えた新しいアイデアやツールを開発、供給し続けていきます。

行動規範

Code of Conduct

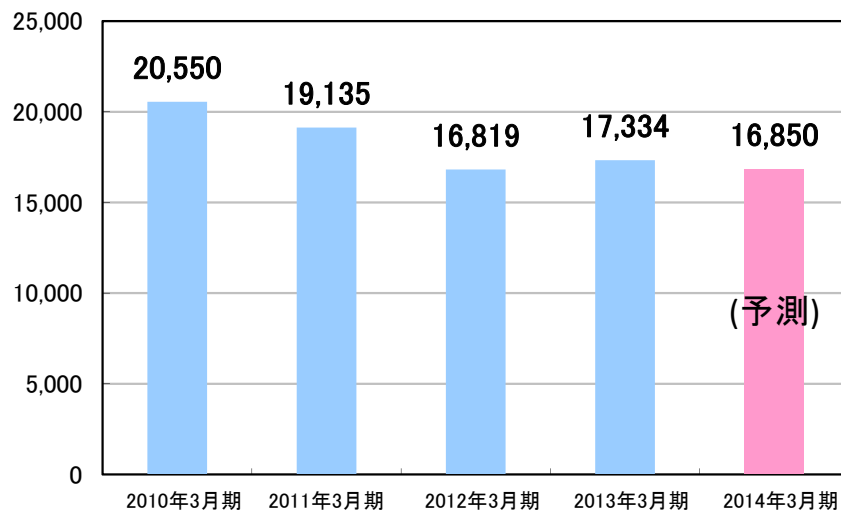
- 1 法令遵守 私達は、地域社会の構成員として、法令を遵守し、健全で透明性の高い企業活動を行います。
- 2 株主重視 私達は、いつも株主の利益を念頭におき、企業価値を高めるための経営を実践します。
- 3 顧客満足 私達は、クライアントの満足と信頼が得られるよう、斬新かつ高品質なサービスの提案を心掛けます。
- 4 従業員尊重 私達は、従業員一人一人の意欲と能力を尊重し、公正な処遇と、働きやすい職場環境づくりを推進します。

(百万円)

	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期 (予想)
売上高	20,550	19,135	16,819	17,334	16,850
営業利益	2,352	1,679	1,573	1,647	1,670
経常利益	2,356	1,683	1,583	1,659	1,670
当期純利益	1,123	864	1,175	1,041	1,010

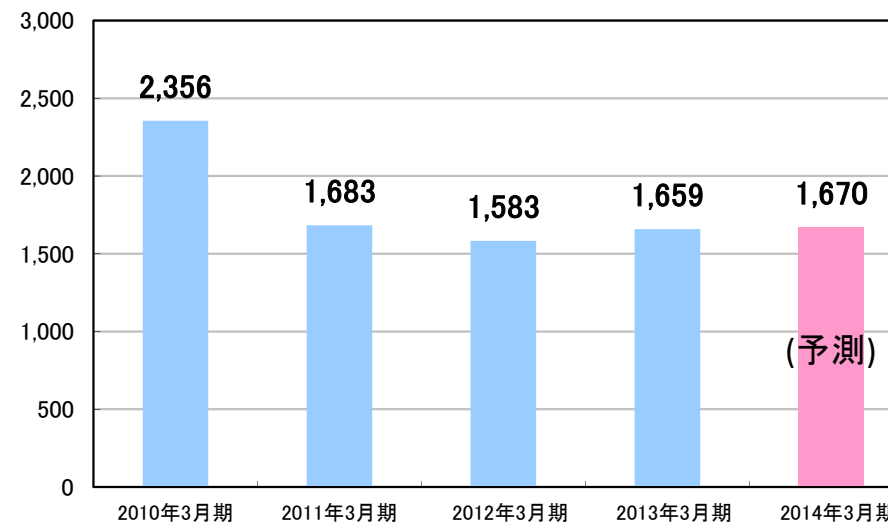
(百万円)

売上高



(百万円)

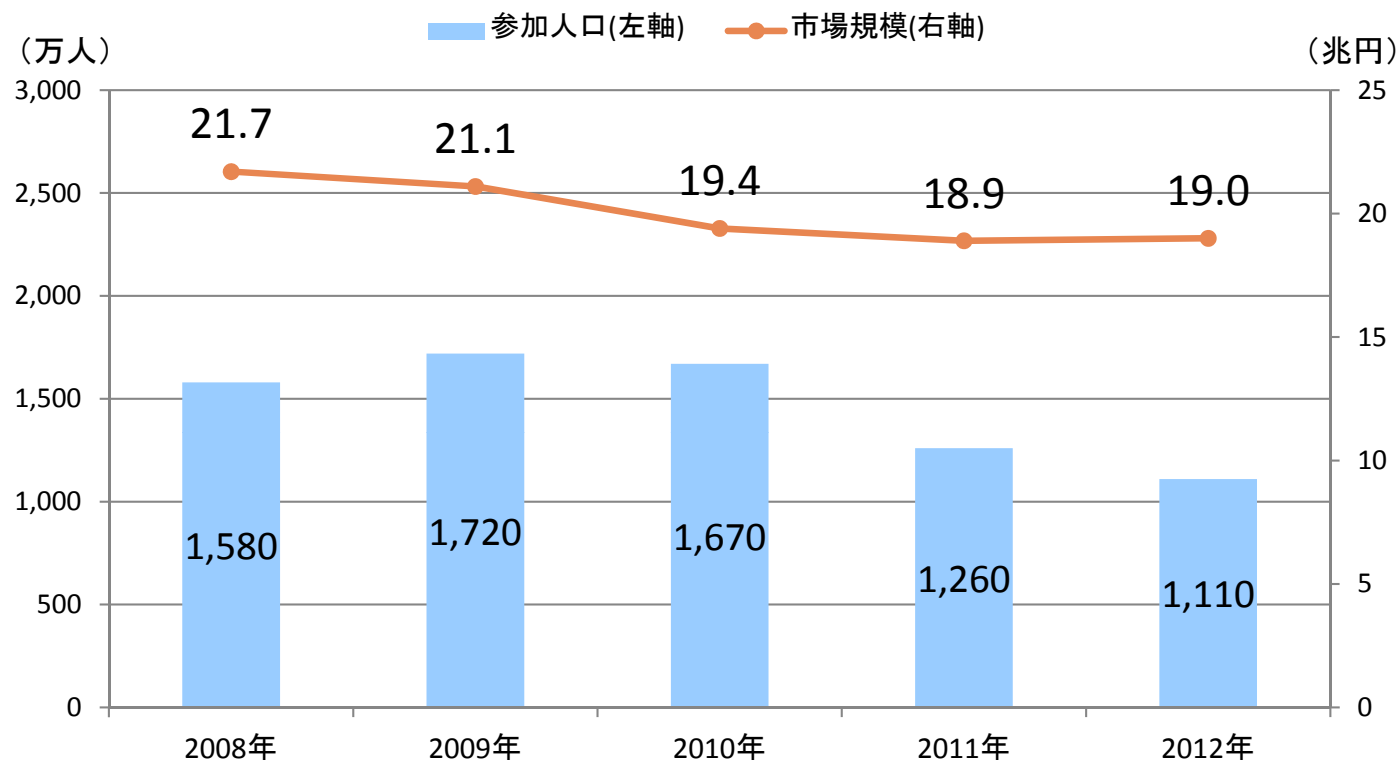
経常利益



パチンコ業界の市場動向

- ・パチンコ業界の市場規模
- ・パチンコホール広告の市場規模

パチンコ業界の市場規模について

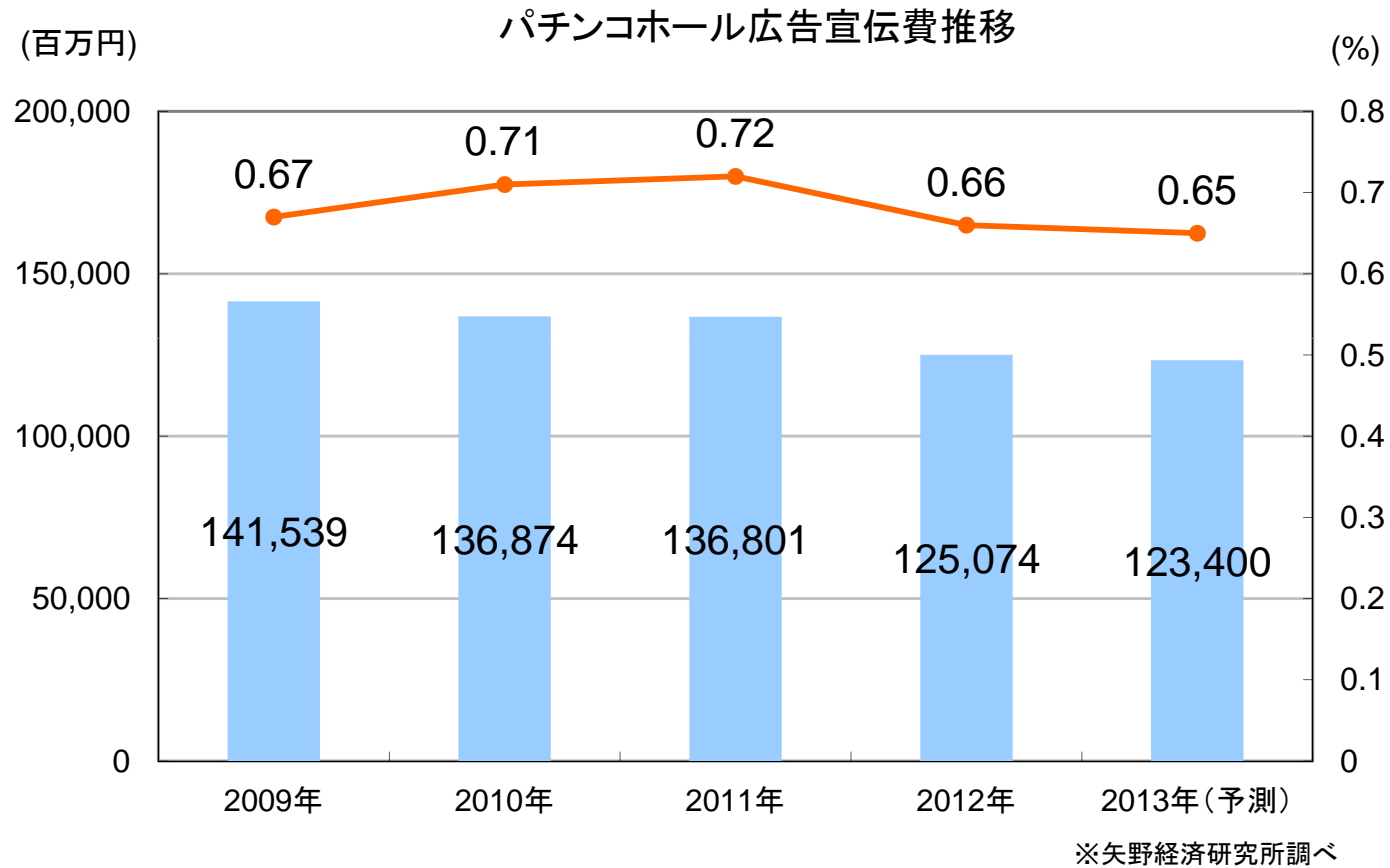


※社会経済生産性本部「レジャー白書」より

2007年のパチスロへの規制強化以降、ホール経営企業の業況悪化や設備投資負担の増加、金融機関の融資姿勢硬化等の要因が重なり、新規出店が大幅に抑制されました。

また、2011年3月に起こった東日本大震災とその後の消費電力削減協力、輪番休業などの影響も加わり、市場規模は減少傾向を示しましたが、その後、大手ホール経営企業を中心とした新規出店や、全国での低玉貸営業の普及、パチスロの人気復活などの影響もあり、2011年以降、19兆円前後で推移しています。

パチンコホール広告の市場規模について



パチンコホール広告の市場規模は、パチンコ業界全体の市場規模の減少幅よりも小さく、2011年は前年実績をほぼ維持しました。しかし、2012年に強化された広告規制の影響を受け、2013年は微減傾向にあると予測されています。

広告事業のビジネスモデルと強み

- ・事業内容
- ・ビジネスモデル
- ・業務フロー
- ・拠点展開の状況
- ・ポジションと強み
- ・取引シェア率推移
- ・現在の取り組み

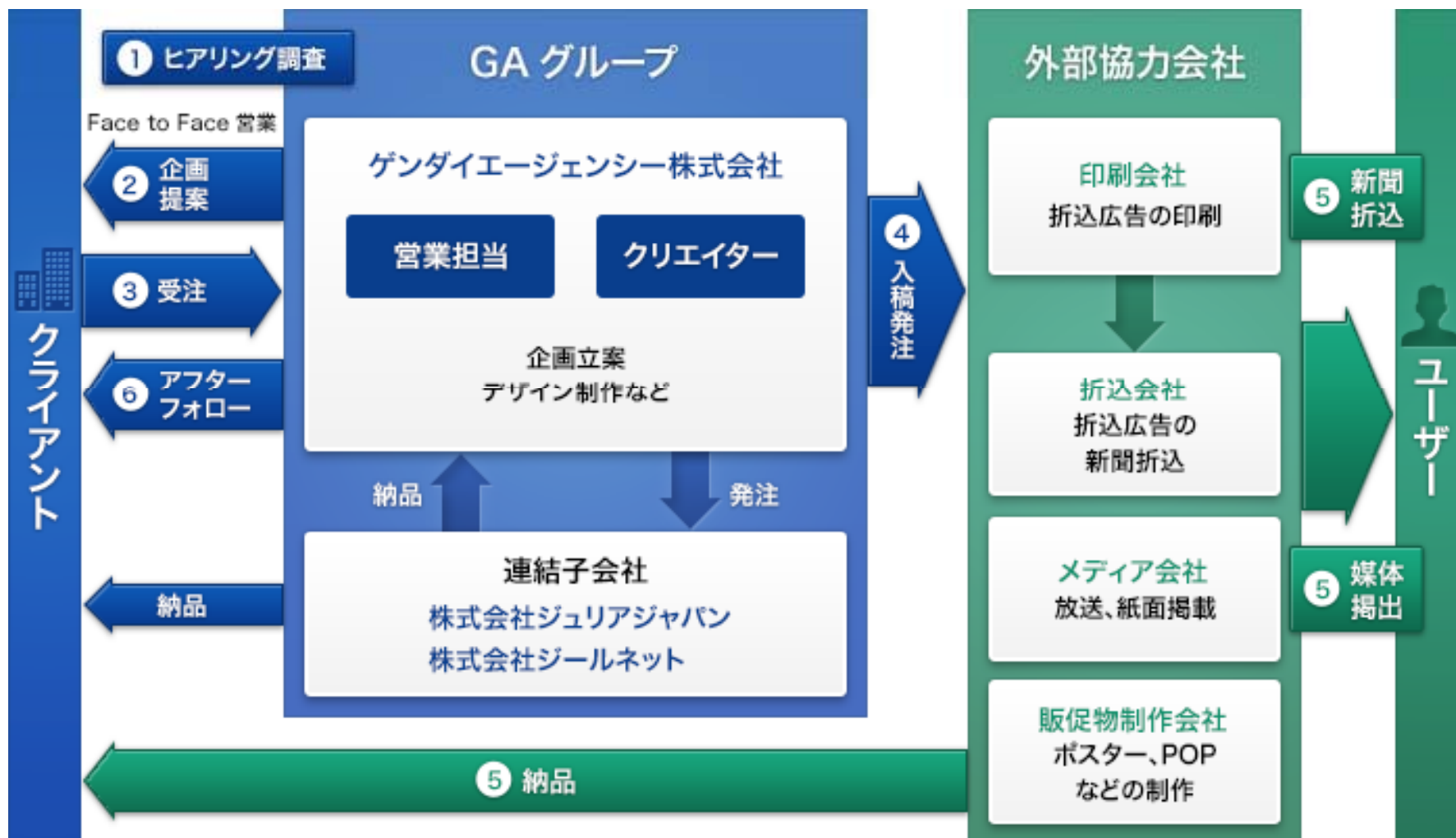
パチンコホールの集客に効果的な広告プランを、トータルプロデュースしています。



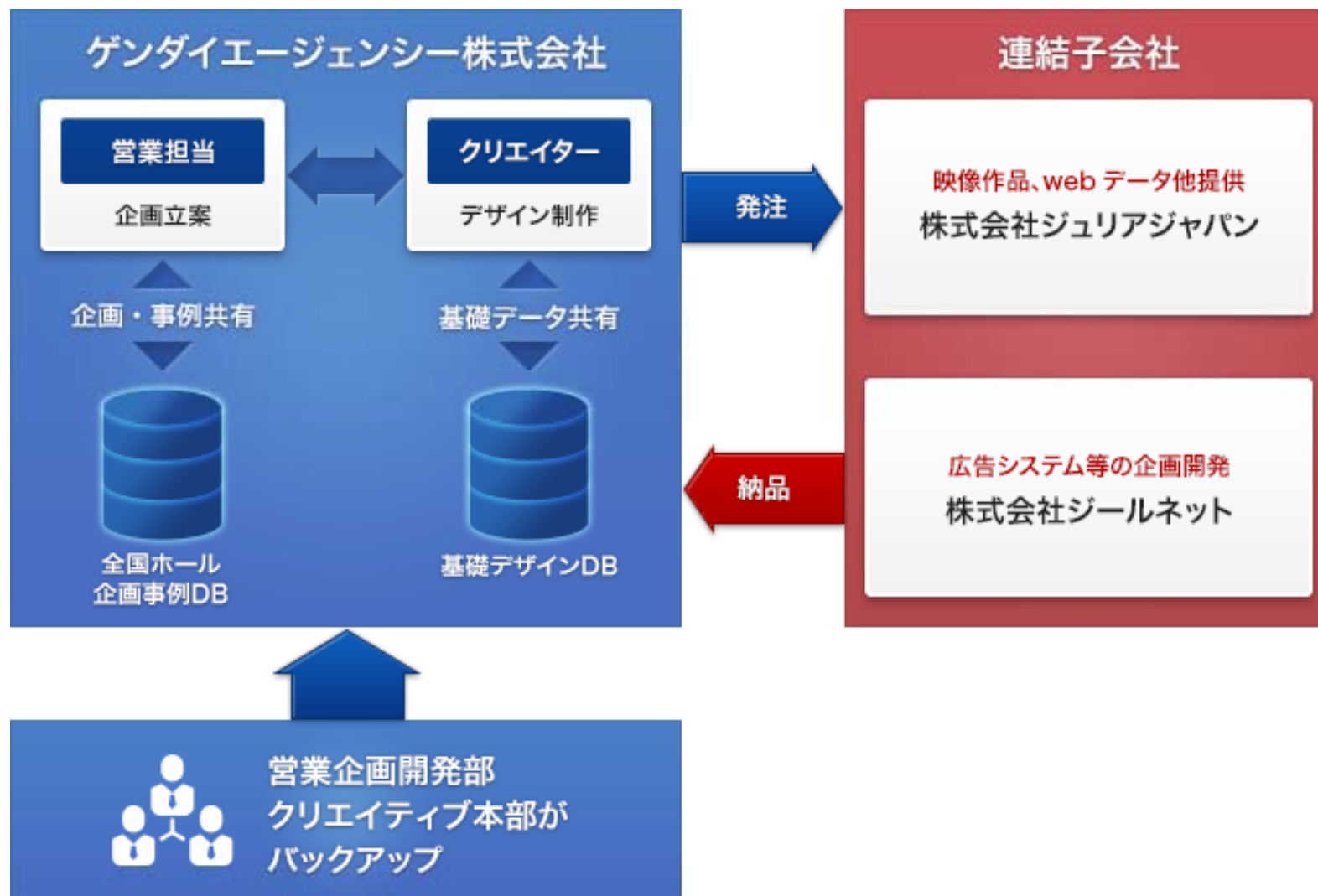
より高い集客効果を目指して、提案活動を繰り返すことでクライアントとの関係性を強化し、継続的取引を確保します。
 顧客ニーズを捉え様々な情報を元に、的確な広告戦略を提案します。
 企画実行後はヒアリングなどを行い、反響を確認し、次回の提案につなげます。



幅広いジャンルの広告物を、外部協力会社と協働してワンストップで実現します。



当グループ内で企画立案、デザイン制作、映像・web制作、広告システムの企画開発等々を行ない、高品質なサービスをスピーディに提供するための仕組みづくりを追求しています。



全国20拠点から最新情報が収集、分析され
クライアントに、鮮度の高い情報をご提供できる仕組みを作っています。



集められた情報から浮き彫りになる「今提案すべきもの」を、
企画やデザインの専門部署が戦略提案、デザイン提案におこし、
全国の営業拠点に配信します

業界に特化したことで、パチンコホールに必要とされる付加価値の高いサービスのご提供を可能にしました。

パチンコホール広告市場 1,250億円



情報の深さと幅広さ

パチンコ業界に特化し、全国展開する唯一の企業だからこそ、圧倒的な情報力に裏打ちされた、付加価値の高い企画提案を実現

取り扱い広告物の多様性

パチンコホールの集客戦略に必要な広告物をトータルプロデュース

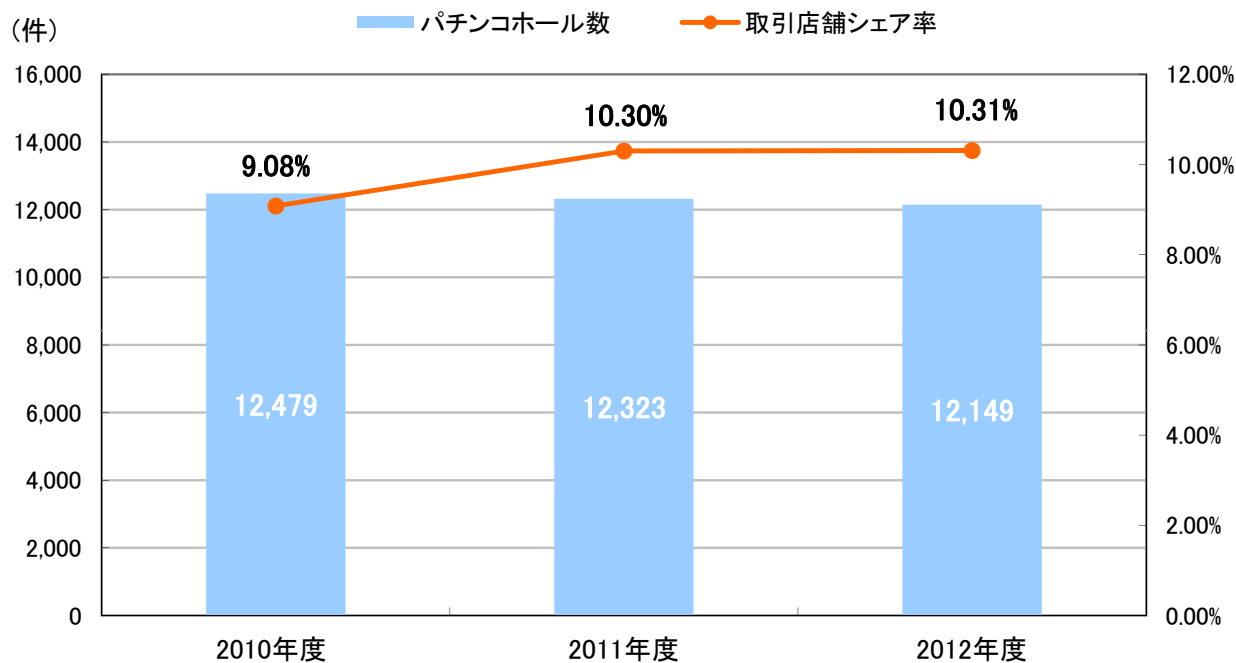
オリジナリティの追求

個々のホール企業ごとに異なる集客戦略に即したオリジナルな企画とデザインを提供

※パチンコホール広告市場 出典: 矢野経済研究所調べ

パチンコホール広告宣伝市場における当社取引店舗シェア率推移

当社グループの取引店舗シェアは約10.0%を占めトップ
厳しい外部環境下でも、着実にシェアを維持しています。



	2010年度	2011年度	2012年度
パチンコホール数	12,479	12,323	12,149
お取引店舗シェア率	9.08%	10.30%	10.31%
広告宣伝費	1,368億円	1,368億円	1,250億円

※出典:パチンコホール数/警察庁、パチンコホール広告宣伝費/矢野経済研究所調べ

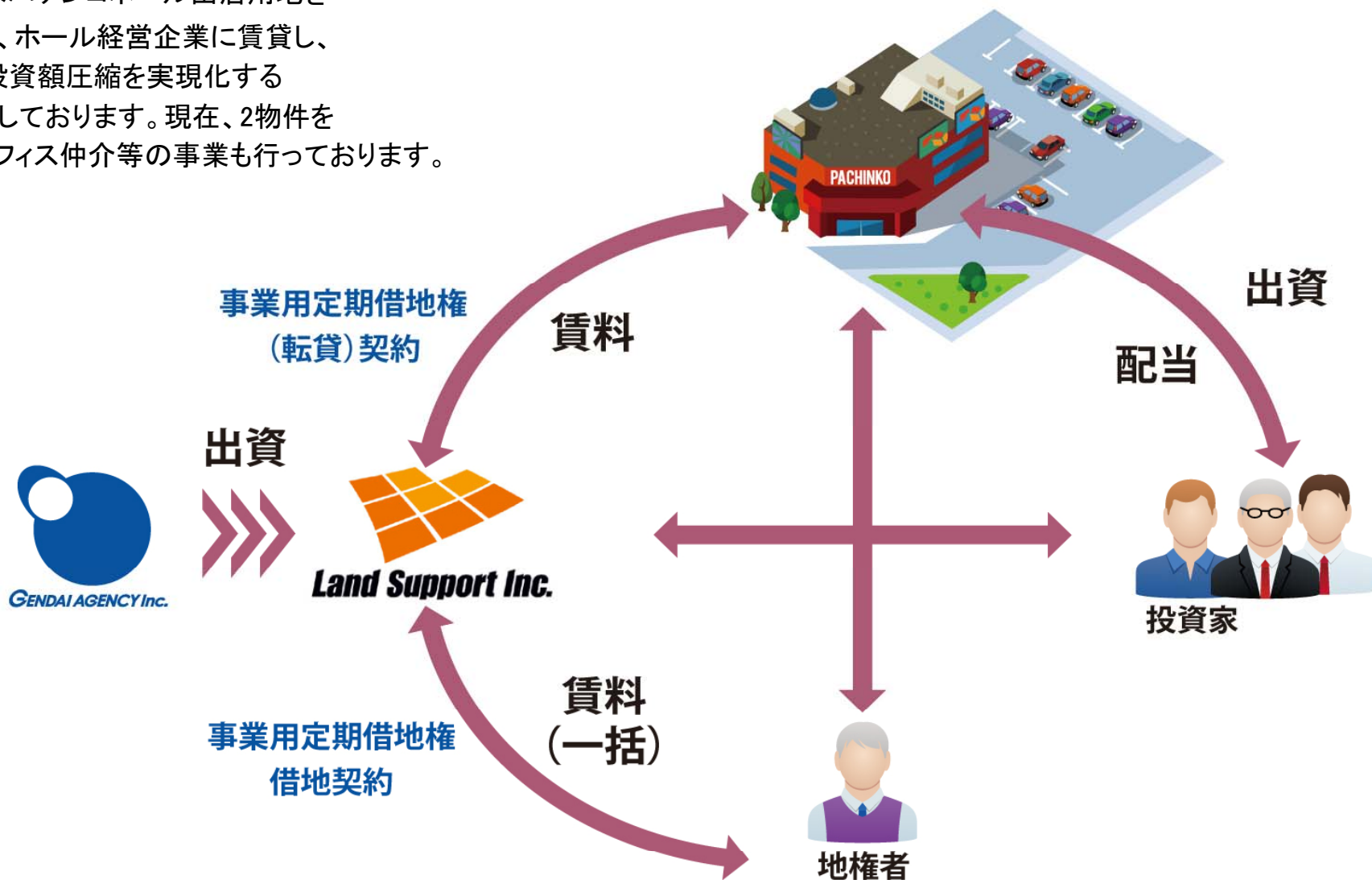
広告事業では、業界環境の変化に伴うクライアントニーズに応えるため
多角的な広告戦略、特にモバイル、ウェブ広告のサービス拡充に努めます。



不動産事業の概要

パチンコホールと地権者をつなぐ、賃貸中心のフィービジネスです。

ランドサポートはパチンコホール出店用地を地権者と契約し、ホール経営企業に賃貸し、出店時の初期投資額圧縮を実現化するサービスを提供しております。現在、2物件を保有する他、オフィス仲介等の事業も行っております。



今後の取り組み

- ・中長期的な会社の経営戦略
- ・対処すべき課題
- ・経営指標と利益配分に関する基本方針

グループの持続的な成長を実現するため、
パチンコホール広告市場のマーケットリーダーとして、サービスの付加価値と生産性の向上を追求し続けます。
また更なるシェア拡大を図るとともに、新たな事業機会を模索し積極的な事業開発に取り組みます。



経営戦略を実現するための課題として、以下の施策を実施します。

新コンテンツ・サービスの 開発と市場投入

新たな差別化、集客戦略構築に向けて、4月に新設した営業企画開発部が中心となって、主にウェブ関連メディアの取り扱いの充実、新コンテンツの迅速な開発、投入を図る

取引顧客店舗数の増加

新規出店予定のパチンコホール企業への広告提案活動を、質、量ともに充実させ、獲得率アップを目指す

主力の紙媒体

+

それ以外の
媒体サービス

クリエイティブ資源の最適化 によるコストダウン

- ・地域別、サービス別の収益管理を徹底する
- ・組織の柔軟性と体制構築により、限られた人的資源でパフォーマンスの最大化を図る

目標とする経営指標をクリアすべく、着実に歩みを進めていきます。

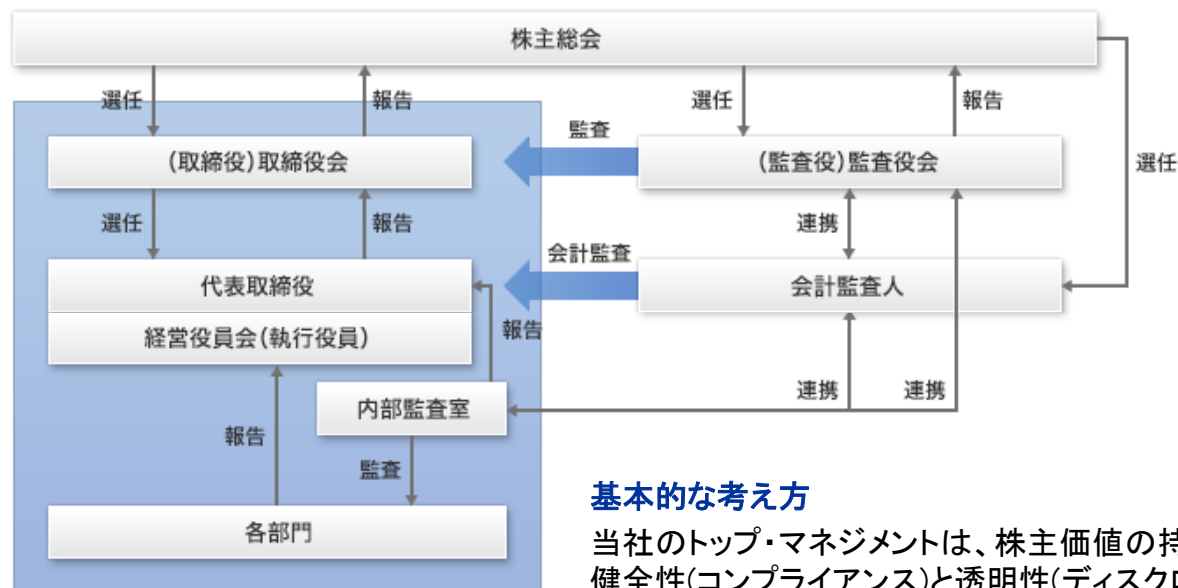
	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期予測
営業利益率	9.4%	9.5%	9.9%
EPS	63.23円	62.35円	60.84円
ROE	23.5%	19.9%	—
配当金 (うち中間配当)	4,000円 (0円)	5,500円 (2,700円)	28円 (14円)
連結配当性向(%)	31.6%	44.1%	46.0%

※当社は、2013年4月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行なっております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

- ・営業利益率10%以上とROE30%以上を目標とし、「生産性」と「付加価値」、「資本効率」を重視した経営を推進していきます
- ・株主価値の最大化を基本方針に、目標連結配当性向を50%としています
- ・資本効率の向上を重視し、適切なタイミングで自己株式の取得を実施していきます

コーポレート・ガバナンス、CSR

- ・コーポレートガバナンス
- ・CSRの取り組み



基本的な考え方

当社のトップ・マネジメントは、株主価値の持続的な増大を図ることが最大の責務であると考えており、健全性(コンプライアンス)と透明性(ディスクロージャー)を確保しながら、常に株主の皆様の利益を念頭に置いた企業活動を実践することを行動規範としております。

取締役会について

法令および定款に定めのあるもの、ならびに会社経営の重要事項として取締役会規程に定めのある事項は、毎月1回以上開催される取締役会で決定しております。当社では常勤取締役が少人数であることから、日常における頻度の高いコミュニケーションが可能であり、また、社外取締役の選任による牽制効果と相まって効果的な業務執行の監視が可能な体制であると考えております。また、意思決定、経営監督と業務執行を分離し、責任の明確化を図ることを目的として執行役員制度を導入し、取締役会において選任された執行役員で構成される経営役員会において、綿密な審議と機動的な業務執行を行っております。

監査役会について

監査役は取締役会に常時出席しているほか、経営役員会をはじめとする社内の重要会議にも積極的に参加し、法令・定款違反や、株主利益を侵害する事実の有無について重点的に監査を実施しております。また、監査役会を定期的で開催し、監査に関する重要な事項について協議しております。

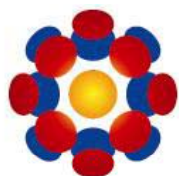
ゲンダイエージェンシー株式会社は、環境、社会的責任、企業ガバナンスに配慮し、持続可能な社会や経済の発展を目指した取り組みの実践に努めてまいります。



環境のために

地球環境の保全に努め、事業活動を通じて社会の発展に貢献します

- ・地球とともに
省資源、省エネルギー化のために、オフィス内のペーパーレスの徹底や社用車のエコカー化などをはかっています



社会とともに

数多くのステークホルダーとともに発展できるよう、各種の活動に取り組んでいきます

- ・社会とともに
 - ・お客様のために
 - ・お取引先とともに
 - ・従業員とともに
- 2011年東日本大震災の被害に対する義捐金の寄付、被災地支援ボランティア活動への参加、世界の子どもにワクチンを送るエコキャップ収集活動への参加、社員の心身の健康を考えたEAPの導入などに取り組んでおります



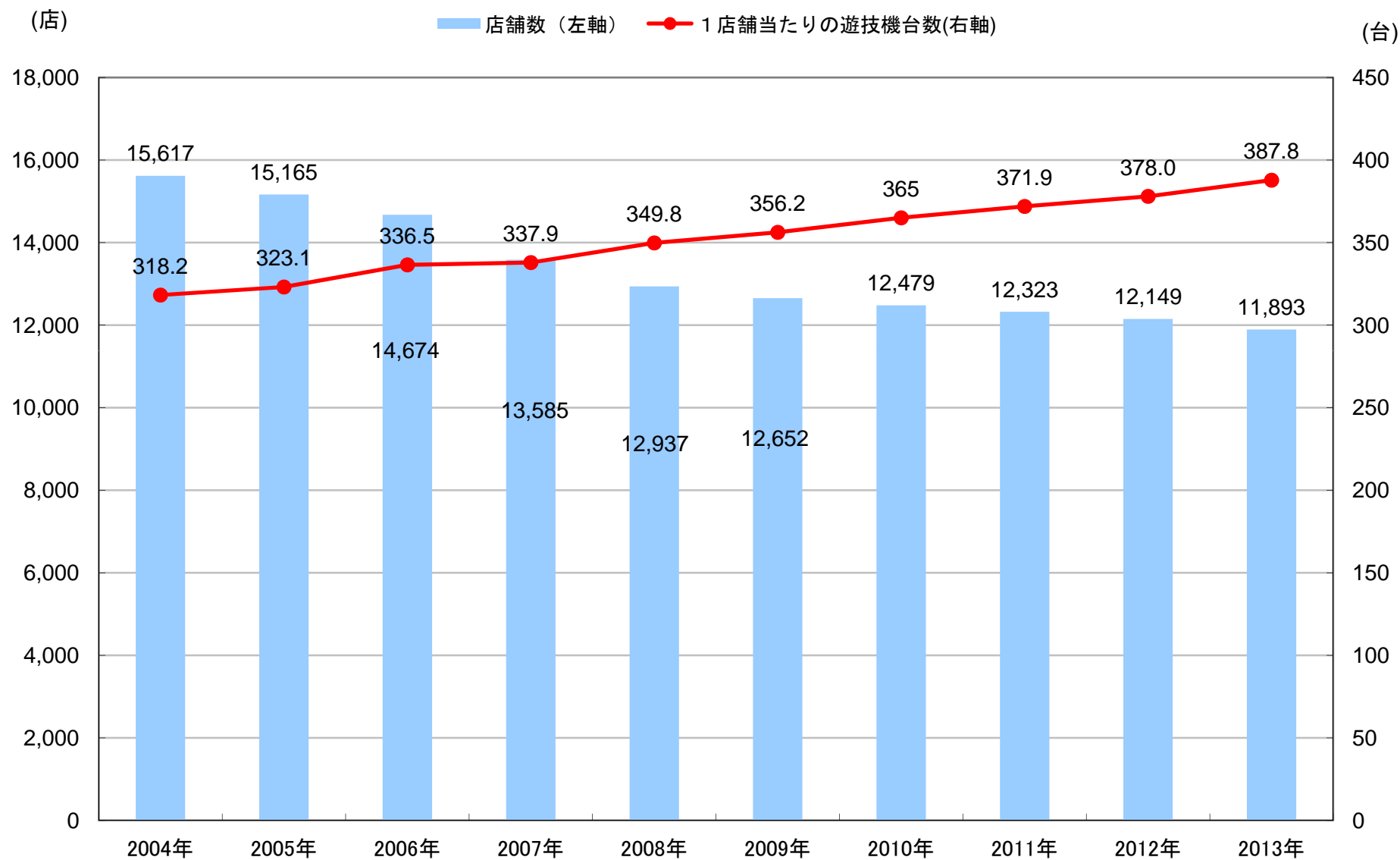
企業として

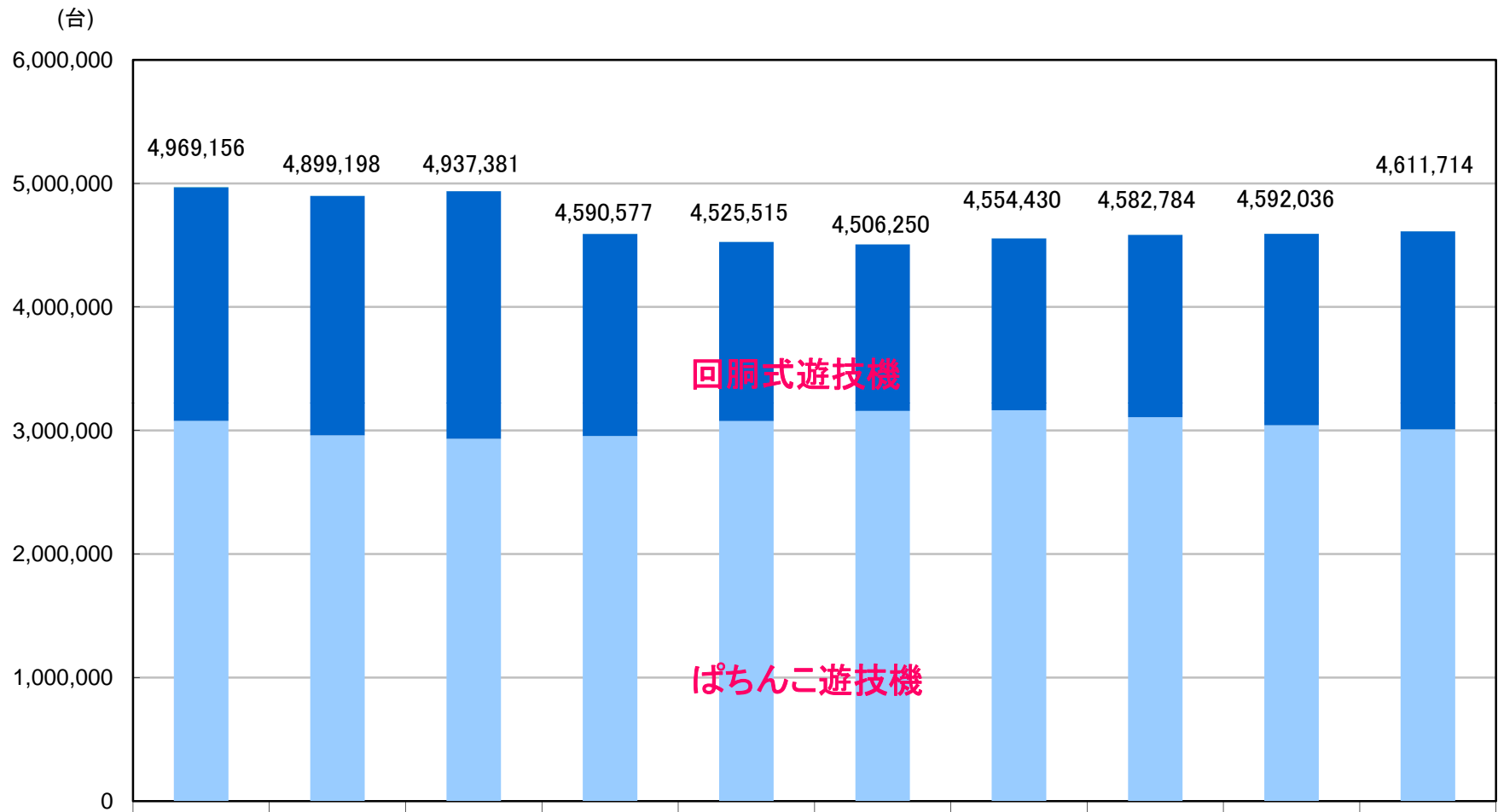
持続的かつ信頼される企業として、さまざまな活動を行なっています

- ・コーポレート・ガバナンス
 - ・コンプライアンス
 - ・情報セキュリティ
 - ・リスク管理
- 社員によるコンプライアンス逸脱の早期発見の仕組みづくりなどに取り組んでおります

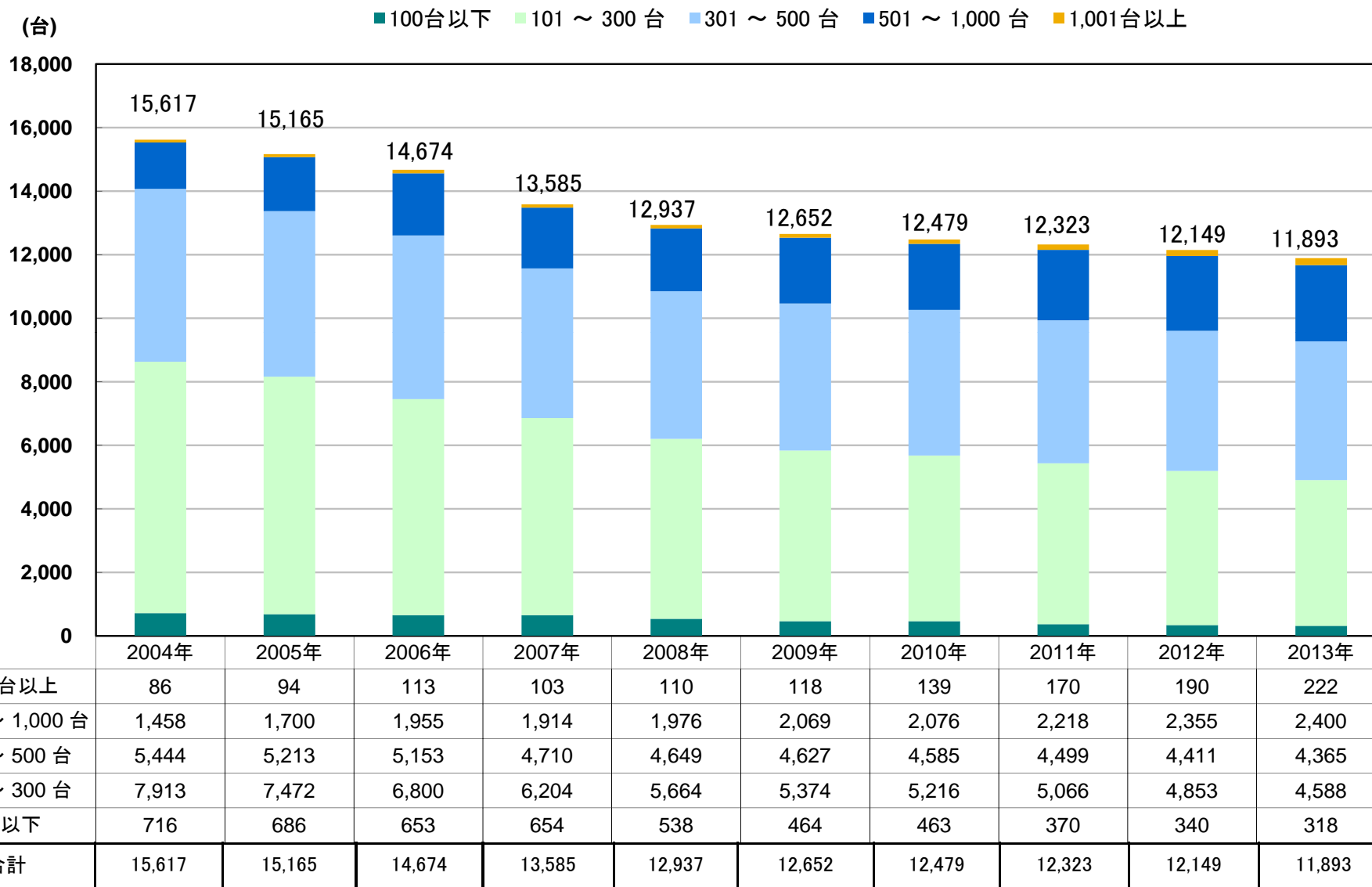
補足資料：業界概況

- ・パチンコ営業店舗数、1店舗あたりの遊技機設置台数推移 ※警察庁調べ
- ・遊技機設置台数推移 ※警察庁調べ
- ・遊技機設置台数別営業店舗数 ※警察庁調べ





■ アレンジボール遊技機等	4,380	1,789	947	331	321	275	288	258	241	252
■ 回胴式遊技機	1,887,239	1,936,470	2,003,482	1,635,860	1,448,773	1,347,176	1,390,492	1,474,838	1,549,319	1,602,148
■ ぱちんこ遊技機	3,077,537	2,960,939	2,932,952	2,954,386	3,076,421	3,158,799	3,163,650	3,107,688	3,042,476	3,009,314
合計	4,969,156	4,899,198	4,937,381	4,590,577	4,525,515	4,506,250	4,554,430	4,582,784	4,592,003	4,611,714



業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

本資料に関するお問い合わせ

ゲンダイエージェンシー株式会社 経営企画部

TEL: 03-5358-3334

Email: m-ir-info@gendai-a.co.jp

URL: <http://www.gendai-a.co.jp/>

2014.4